

2022年



あつま

社協だより



発行者

社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会

〒059-1601

勇払郡厚真町京町 158 番地

TEL (0145) 26-7501

FAX (0145) 26-7655

秋号



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

平成30年北海道胆振東部地震から4年

～記憶を刻み、前へ～

「災害支援感謝のつどい」を開催



震災当時にご支援をいただいた方々への感謝と、復興に向けて地域づくりに取り組む町の様子を発信することを目的に「災害支援感謝のつどい」を11月12日（土）に厚真町総合福祉センター（京町）で開催します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場者数に制限があることから、原則として事前申し込みとするほか、オンライン配信での開催を予定しています。

「災害支援感謝のつどい」

日時 令和4年11月12日（土）13時～16時（予定）

場所 厚真町総合福祉センター大集会室

お問い合わせ 電話0145-26-7501（厚真町社会福祉協議会・福祉係）

9月6日に寄せて

震災が発生した9月6日に合わせて、今年も社会福祉協議会にお花が届きました。毎年花を贈ってくださるのは宮城県・仙台市在住のフラワースタイリスト栗林ゆかさんをはじめ、3.11希望のひかり実行委員会（仙台市）などの関係者の皆さん。お花を通じた被災地支援や防災活動として、花き農家さんや障がい者施設と協力しながらガーベラやリンドウなどの花を厚真町に贈ってくださっています。

お花は公共施設や福祉事業所、交流施設など町内10か所にメッセージとともにお届けしました。



災害を忘れない～

「厚真町災害ボランティアセンター活動記録誌」

平成30年北海道胆振東部地震に関する厚真町災害ボランティアセンターの活動をまとめた記録誌を作成し、厚真町社会福祉協議会のホームページで公開しています。

当時の活動記録や町内外の関係者の声をまとめながら、震災の記憶や経験を次へと繋ぐ内容となっています。

「平成30年北海道胆振東部地震 厚真町災害ボランティアセンター活動記録誌」

（A4版125頁 2021年10月作成）



被災された方々の相談窓口です ～ 生活支援相談員（LSA）

生活復旧に取り組んでいるなか、被災された方々の中には生活環境の変化やストレスなどから不眠などの健康問題や、お仕事や家計の問題など、抱えている不安や課題がある方がいらっしゃるかもしれません。

社会福祉協議会では生活支援相談員（LSA）が、そのような悩みや不安を抱えている方の相談窓口を設けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

電話0145-26-7501（厚真町社会福祉協議会・福祉係）

お知らせ 申請、更新時期の変更について ～小地域ネットワーク活動事業



厚真町社会福祉協議会では、各自治会単位で取り組みを推進している小地域ネットワーク活動「たすけあいチームづくり」について、保険加入事務や申請にまつわる支援の円滑化を図るため、来年度から事業対象期間を4月から翌3月までの年度へと移行する準備を進めています。

これに伴い、例年12月にかけてご案内していた活動申請は、新年度へと申請時期が変更となる予定です。詳しくは各自治会へご案内いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

電話0145-26-7501（厚真町社会福祉協議会・福祉係）

サロン でも流行!?

フィンランド発祥の
ゲームに
チャレンジ!!



ふれあいサロンでの交流メニューは、参加者やサポーターのボランティアさんのアイデアで決めています。先日、町内のイベントに参加したボランティアさんが「とっても楽しかった～!」とオススメしたゲームが、「モルック」と言うフィンランド発祥のゲームでした。早速、道具をお借りして9月13日に豊川生活会館で開催したサロンで体験してみました。

モルックは木の棒を投げてピンを狙う棒倒しの競技で、ルールは単純ですが、作戦やテクニックの要素もあり、とても奥が深そうです。

サロン参加者にとって初めて体験するゲームでしたが、接戦となる名勝負も生まれ大いに盛り上がりました。誰でも簡単に遊べるので、これから他のサロンでも流行するかもしれません。

今後のふれあいサロン

日程 10:00～
12:00
お気軽にお越しください

☆ あれこれサロン ☆
(豊川生活会館)

- ・11/8 (火)
- ・12/6 (火)
- ・1/10 (火)

☆

☆ ひだまりサロン ☆
(厚南会館)

- ・11/16 (水)
- ・12/9 (金)
- ・1/23 (月)

☆

☆ ほほえみサロン憩 ☆
(福祉センター)

- ・11/22 (火)
- ・12/13 (火)
- ・1/16 (月)

☆

☆ ほっと茶ろん ☆
(厚北地域防災CCならやま)

- ・11/24 (木)
- ・12/19 (月)
- ・1/18 (水)

☆

募集

ご不要のタオルやウエスありませんか？

社会福祉協議会が管理運営する福祉事業所では、介護や拭き取りなどに使うタオルの寄贈を募集しています。

ご家庭でご不要のタオルなどありましたらぜひお寄せください。

＊タオル類

(バスタオル・フェイスタオルなど新品でなくて構いません)

＊ウエスとして使える拭き取りに適したやわらかい布

電話0145-26-7622（厚真町高齢者生活福祉センター）

赤い羽根共同募金



赤い羽根強化月間：令和4年10月1日～12月31日

歳末たすけあい強化期間：令和4年12月1日～31日

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。

この赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業の推進を目的に、各地域で目標額を定め展開をしています。今年も町内の自治会を通じて各世帯の皆様に対し募金をお願いしています。また、各事業所や団体など、様々な機会を通じて募金へのご協力を呼び掛けています。

この活動で集められた募金は、近年全国各地で発生している災害支援活動はもちろんのこと、福祉車両の購入費用の助成や全道規模の様々な福祉活動で使用されています。また、毎年12月は歳末たすけあい義援金の強化月間です。1か月間の義援金の受け付けとなりますが、赤い羽根の募集と合わせまして皆様の温かいご理解とご協力をお願いいたします。

《募金のお問い合わせ先》 厚真町共同募金委員会（社協内） 電話0145-26-7501

2022(令和4)年度 「赤い羽根ご当地ピンバッジ」の頒布協力のお願い



今年度のご当地のピンバッジのデザインは、あつまくんをモチーフに北海道厚真高等学校ボランティア部の皆様にご協力いただいて作成したものです。

ピンバッジはおひとつ500円以上の募金で進呈させて頂いております。

このバッジは、地域限定で募金金額500円のうち材料費や製作費を除いた金額が赤い羽根共同募金に寄付される数量限定品です。

その募金は高齢者や障がい者を対象とした行事、施設の整備や被災地支援など様々な形で地域福祉活動に役立てられていますので、皆様の温かいご理解とご協力をお願いいたします。

頒布につきましては、厚真町共同募金委員会（社協内）の窓口で取り扱っております。

お知らせ

今年も歳末たすけあい運動による

歳末見舞金贈呈事業 と おせち料理贈呈事業

を実施いたします

歳末見舞金贈呈事業

贈呈金額：1世帯 **10,000円**

各自での申請が必要です。（申請書は配布予定チラシの裏面にあります）

12月1日現在で下記①～③の全てを満たした上で、A～Dのいずれかに該当する方が対象になります。

- ① 厚真町にお住まいで、世帯員全員が道・町民税非課税であること
- ② 生活保護を受給されていないこと
- ③ 世帯主が医療保険（被用者保険）の被扶養者になっていないこと

A 世帯主が20歳未満の子供を扶養している母（父）子世帯

B 在宅で、下記の等級に該当する障害者手帳をお持ちの方がいる世帯
（身体1・2級／療育A・B判定／精神1・2級）

C 在宅で、特定疾患医療受給者証や特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちの方がいる世帯

D 在宅で、要介護度3以上の家族がいる世帯

おせち料理贈呈事業

お届け予定日：12月30日（金）

地区担当民生委員が、該当予定者様へ確認にお伺いいたします。



厚真町にお住まいの12月31日までに72歳以上になる方で、家族が死亡または入院等の理由により、継続して単独で生活されている方（町内に子どもが居住している場合を除く）が対象となります。

※歳末見舞金とおせち料理を重複してのお受け取りも要件が合えば可能です。

詳しくは11月に折り込みチラシを配布予定ですので、そちらをご覧ください

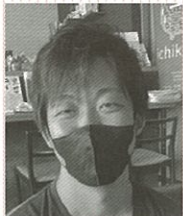
*お手元に届かない場合は社協までご連絡ください

福祉と人

このコーナーは福祉の仕事に関わる方々、各種ボランティアさんと社協お訪ね人が対談！その活動内容等を紹介しています。 お訪ね人：包括担当 吉田

ミーツ株式会社
CEO

成田 智哉さん



年齢：34歳
出身地：千歳市
出身大学：東京大学 文学部

ミーツ株式会社とは、生活の困りごとを解決するだけではなく、人と人との接点によるコミュニティをコンセプトとして活動している。

《業務内容》

・送迎・雪かき・草むしりなど
多様なサービスを展開

吉田：前職を退職して、起業家になったきっかけを教えてくださいませんか？

成田：もともとサラリーマンから独立したいと考えていて、ちょうど30歳という節目もあり、思っていた所に胆振東部地震があって日本のことが気になり帰国して、いざ起業をとった時に厚真町役場と接点があったのが始まりですかね。自動車業界の経験もあったので、車で困る人もいるのではと考え始めました。移動手段や高齢化など様々な地域の課題があると思うのですがそれを解決するビジネスをしたかったですよね。

吉田：なるほど、具体的にはどのような形となっていったのですか？

成田：こういう田舎町でしたら、家族だけで困りごとを対応するって結構大変だと思うんですよ。それをみんなで支えられるような、いわゆる共助型のマッチングサービスを提供しています。雪かきですとか、草刈りですとか送迎ですとか。

吉田：現在、町民さんから多くてている要望は何でしょうか。

成田：やはり高齢者の移動送迎になりますね。その次に、力仕事とかですかね。

吉田：サポートする方は登録制で活動しているのですか？

成田：そうです。地域で困った人がいたら助けたいという人って結構多いんですよ。

吉田：この仕事を通じ、やっていて良かったと思うことはありますか？

成田：利用している方からは、「無いと困るサービスである」といった意見が多く聞かれますね。お盆に厚真の実家に帰省されたご家族から「うちの母がお世話になっているみたいですけど」とお礼を言われました。その家族は東京に在住しており、これからもよろしくお願いしますとのことでした。あとは、日常私たちが高齢者の方々とお話をする機会って意外に少ないものですが、このビジネスを通じて対人関係の幅が広がったこともプラスに考えています。都会では得られにくいんですよね。

吉田：今後の目標はありますか。

成田：人口4400人の町ですが、一人で住んでいる高齢者の方々をみんなでケアできる、そういう世界を創っていきたいです。この課題は厚真町だけではなくて、日本全国にあるものだと思います。厚真で初めて実施するサービスなのですが、このことにしっかりと基盤ができればもっと広い大きなインパクトを生むかもしれません。日本全国のなかで厚真町が助け合いの最先端を担う町になるようなことができればと思っています。

Interview

詳しくは下記までお問い合わせください。

ミーツ株式会社 厚真町京町1-1 ☎ 070-1423-7754

掲示板

送迎ボランティア

募集中

- ★ ボランティアにちょっとだけ興味のある方
- ★ 運転が好きな方
- ★ 運転ボランティアと一緒に利用者の見守りをして頂ける方
- ★ 週に1度くらいなら空いた時間に送迎のお手伝いをして頂ける方

あなたの空いた時間を少しでも 地域貢献してみませんか？

【活動内容】

地域サロン等参加者の送迎

＊車は当社協の公用車（普通車）を
使用して頂きます＊

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

厚真町給食 サービス

夕食を週3回～6回の間で、ご自宅までお届けします。専属の管理栄養士が考えた、季節の食材を使ったメニューをご用意。工場で当日に調理したものを冷蔵でご自宅までお届けします。

＊メニュー＊

- ・松デラックス弁当 ￥650
- ・竹バランス弁当 ￥500
- ・梅（低カロリー）弁当 ￥450

厚真町に在住する70歳以上の一人暮らし又は70歳以上の高齢世帯で身体的又は精神的な事情により自ら食事の支度が行うことが困難な方で下記に該当する方が対象

- ・要支援又は要介護の認定を受けている方
- ・厚真町又は居宅介護支援事業所等から給食サービスの必要があると認められた方
- ・70歳未満でも上記に該当する方

＊委託先：コープさっぽろ配食サービス

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

生活就労

サポートセンターいぶり

「住まい」「仕事」「生活費」
などの困難を抱えている方に
総合的な支援を行います。

【住宅確保給付金】

再就職のための住居の確保が必要な方、収入が減り家賃が払えない方の支援を行います。

【就労支援】

早期就労が見込まれる方に対して、自治体とハローワークによる一体的な支援を行います。

【家計改善支援】

家計管理、滞納の解消や各種給付制度の利用、債務整理に関する支援などを行います。

お問い合わせ先
・いぶりサポートセンター
0120-09-0783

サポーター募集中！ ふまねっと運動

ふまねっと活動をより広く町民に普及・啓発し、高齢者の健康と歩行機能の改善、社会参加の拡大に貢献してみませんか？
サポーターに興味のある方の見学も可能です。

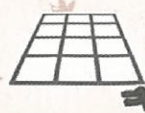
もちろん参加者も募集しています！

参加希望の際は、事前に連絡をお願いします。

曜日：毎週火曜日

時間：10：00～11：30

場所：厚南会館



お問い合わせ先
ふまねっと・かめの会
代表：高木 慶子
☎ 0145-28-3613

福祉資金

荒城治子様(共和)
酒井一男様(美里)
兵頭利彦様(本郷)
徳竹広子様(新町)
工藤芳一様(表町)

合計 310,000円 (5件)

(令和4年6月15日～9月15日)

物品預託

苫東石油備蓄(株)
苫小牧事業所様(苫小牧)
北海道石油共同備蓄(株)
北海道事業所様(苫小牧)
・・・タオル



苫東石油備蓄(株)様・北海道石油共同備蓄(株)様より

ご芳名はご本人から了解をいただいた方のみ掲載しています。

令和4年度厚真町戦没者追悼式

8月23日に忠魂碑の清掃を行い、26日には忠魂碑自由参拝と厚真町戦没者追悼式が行われました。

閉会後に同席上で厚真町遺族会会長表彰も行われました。

役員5年以上(理事) 藤井 隆之様
役員10年以上(副会長) 山口 清光様
(理事) 上村 正夫様



あたたかい善意に
感謝いたします

今号の表紙

いきいきサポートで
開催した敬老会です

厚真町ボランティアセンター

7/16 厚真児童会館にて

傾聴講座開催！！

この日はテーマとして「相手の心に寄り添う聴き方」と題し、道内でも社会福祉分野において多岐に活躍されている北海道総合福祉研究センター理事長の五十嵐教行氏を招いての講座となりました。参加された20名の方々は、先生の講義に熱心に耳を傾けながら、時には笑いあいの和やかな雰囲気でした。



参加者の中には、これまで傾聴について学んできた方もいらしたのですが、今回の講座では新たに学んだことも多く大変勉強になったという意見もあり、改めて「傾聴」についての奥深さを実感されたようでした。

講座終了後には、五十嵐先生の傾聴に関わる出版物の展示販売も行い、先生の善意で売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付するといったご厚意

もありました。また、今回参加された方々については、また傾聴講座があったら参加したいという方がほとんどでした。厚真町ボランティアセンターでは、そのような意見を反映して、年度内に再度傾聴講座を企画していきたいと考えています。最後に参加された20名の方々と五十嵐先生には、改めて今回の講座を実施できたことに、深く感謝申し上げたいと存じます。

